

「学校設定科目『スペイン語』を立ち上げるまでの過程」

～学校の教育目標を幅広く捉えて～

日比野 規生(神奈川県立深沢高等学校 教諭)

1. 発表の趣旨と取り組み内容

令和2年度現在、神奈川県には138校158課程の公立高校が設置されている。その内、英語以外の外国語(以下第二外国語)の科目を開講しているのは14校で、言語別に中国語12校、スペイン語と韓国朝鮮語9校、フランス語6校、ドイツ語5校、アラビア語1校となっている。他の都道府県と比較しても学校数、言語の種類共に決して少ない数ではない。その一方で、グローバル教育推進校として神奈川県から指定を受けている高校が平成28年から平成30年で延べ9校あるが、第二外国語の科目を開講しているのは2校という現状もある。さらに県の指定とは別にグローバル教育・国際理解を学校目標に掲げている高校が15校を超えるが、第二外国語があるのは3校のみである。これはグローバル教育・国際理解教育が英語に重点が置かれていることが背景にあると考えられる。

また県内の総合高校にはグローバル系列という選択科目のまとまりがあり、その中で多くの第二外国語の科目を開講しているが、平成28年の県立高校改革で11校あった総合高校が7校となり、その結果、県内の第二外国語を開講している学校数は減少している。

私自身、平成23年より8年間、神奈川県立藤沢総合高校でスペイン語と英語の教員として勤務し、スペイン語と国際理解教育に携わってきた。令和元年、第二外国語の科目がない深沢高校に転勤したが、生徒の要望もあり、国際観光都市鎌倉に位置する普通科の高校でスペイン語の科目を開講したいと考え、立ち上げ作業に着手した。

幸いにも1年半で教育委員会へ申請するに至ったが、今思い返してみると、随所にクリアすべきポイントがあり、周りの協力で、それらを乗り越えてきたように思う。

今回、本分科会で、申請までの過程を発表し、高等学校において第二外国語の科目の開講を目指す先生方の一助となればと考えている。さらには「グローバル教育」「国際教育」を学校目標に掲げた学校や「ごく普通の高校」に多言語教育というエッセンスを加えた、より魅力ある高等学校が増えることを期待したい。

【神奈川県立深沢高等学校の概要】

- (1) 神奈川県鎌倉市に位置する全日制普通科の小規模校(1年6クラス、2年6クラス、3年5クラス)3学期制
- (2) 重点目標 ①変化と多様性に富んだ社会で、自らの課題を探究し、主体的に解決に取り組む人間の育成
②英語力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・ICT利活用能力等を育成
③シチズンシップ教育・ボランティア活動・インターンシップ等を通して、公共の意識を高めるとともに、グローバル化の進展する社会で創造性を発揮する人材を育成する。

【学校設定科目申請までのプロセス】

＜令和元年度＞

- (1) 公開講座(市民講座)『話してみよう！スペイン語！』開講 → 深沢高校の『特色ある取り組み』に位置付ける
- (2) 英語科の目標として『プレゼンテーション能力の育成』掲げる → 学校目標にリンクさせる
- (3) 地域貢献として生徒が保育園で英語を教える活動を計画(コロナで中止) → グローバル教育への足場作り
- (4) 職員向け多言語講座(スペイン語・タガログ語)を実施 → 職員の英語以外の外国語への興味を高める効果
- (5) 英語科の教員の理解を求め → 外国語科目としての足場を固める
- (6) 英語の授業で語源などを解説する際他の言語も頻繁に利用する → 英語以外の言語に興味を持たせる効果
- (7) 世界の料理研究同好会を生徒と共に立ち上げ → 生徒たちがより多くの異文化に触れる機会を設ける

＜令和2年度＞

- (1) 新校長に上記取り組みを説明し、学校設定科目「スペイン語」を開講したい旨相談
- (2) 県教育委員会と管理職との複数回にわたるやりとり
- (3) 英語科の会議を実施
- (4) 外国語科として学校設定科目『スペイン語』を職員会議に提案、承認を受ける
- (5) 所定の書式を神奈川県教育委員会に提出(書式の記載内容を今回の発表では詳しくお話しします)
- (6) 令和3年度入学生向け資料に学校設定科目『スペイン語』が掲載される

2. 学校設定科目「スペイン語」の概要(県への提出書類から抜粋)

【設置理由】深沢高校では、新しい時代に求められる学力の育成をめざし、英語力向上に向けて少人数授業の展開とプレゼンテーションなど表現能力の向上に取り組んでおります。地域に貢献する人づくりとして国際観光都市鎌倉の伝統文化を外国語で発信するという観点から、高等学校学習指導要領に基づく「学校設定科目」を設置いたします。

【目標】スペイン語の語法・表現、特徴を学び、スペイン語による言語活動を通して簡単な情報や考えなどを理解したり状況を判断して的確に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力の育成を目指す。スペイン語圏の国々の文化に関する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的にスペイン語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(中学校学習指導要領を参考)

【授業形態】3年自由選択科目(2単位)令和3年度募集、令和4年開講

3. 発表に向けて

上記のように学術研究発表ではなく実践報告であることをご理解いただければ幸いです。